

転倒による労働災害を防止しよう

転倒災害を防止しよう！

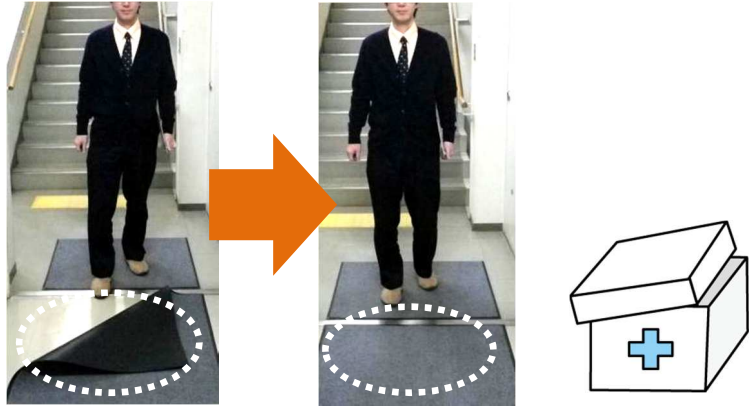
～ 秋田県では転倒労働災害が災害のトップです ～

1 不安全な箇所をなくしましょう

事業場で転倒の原因となる箇所はありませんか？
転倒災害から見た、多発場所は…

【原因となるもの】	【対策】
床にこぼれた水、油	床の清掃
露出したコード	コードの埋め込み、スロープ状のカバー 注意喚起の表示

5S活動の実践(整理・整頓・清掃・清潔・しつ付)



屋内における転倒防止対策では、5S活動が重要。
通路など転倒災害の要因となるものを改善することが求められます。

マットの端はめくれ易いので注意



テープでとめる
掃除の時にはがせばいい

危険箇所をなくすため重要なのが除去と分離

転倒しそうだったが…何度も発生しないようにするには、注意喚起の表示の優先より、転倒に危険と思われるものを除去することや、通路上にあるなら分離(う回路を設けるなど)をしてしまうことが重要です。

危険の除去



じゃまなコードも
まとめましょう

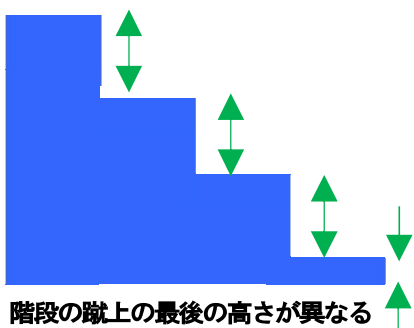


通路にある凸凹

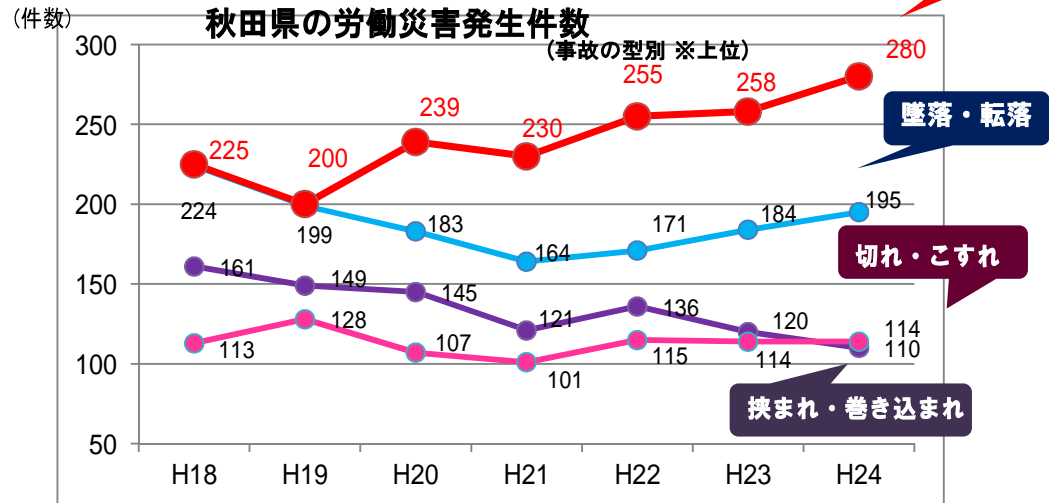
通路にある歩行の障害となるものは、じゃまにならない箇所に寄せます。
通路面にある凹凸など、つまづきの原因となるものを放置することは、毎回だれかがつまづく危険があるため凹凸などを除去します。

通路にある凸凹を埋める対応が急に対応できない場合は、スロープを設けたりして対処しますが、それもできない場合は迂回させるなどの手法をとりましょう。

階段の段差(蹴上)に差があるとその部分で転倒を起こす場合があります。このようなときは、蹴上を等間隔になるように改善します。



階段の蹴上の最後の高さが異なる



たかが転倒…されど死亡するときもある！

「急性硬膜外血腫(きゅうせいこうまくがいけっしゅ)」(転落し頭を打っただけで頭がい骨の中の硬膜内で出血が起き、やがて脳が圧迫されて死に至ります。外傷がないように見えても、頭がい骨を開いて手術を行い、血腫(頭蓋骨をはずし硬膜を切開し展開すると写真の矢印の部分にゼリー状にかたまるところが出てくる。)を取り除かないと死亡することがあるのです。

2 階段の昇降での注意



階段では滑り止めを設けましょう。
勾配が急にならないようにしましょう。
手すりを設けましょう。
照明は段差が見やすい明るさが確保されているかが重要です。
重さだけではなく、荷物で足元が見えないと踏み外して転倒する危険があります。
多い荷は一度に持たず、小分けして運搬するか、運搬台車を利用してエレベーターなどを使用しましょう。
階段最上段からの転落は、高所からの転落と同じです。階段で走ることは危険です。



滑り止め設置例



滑り止め用のテープもある



3 基本は清掃

気が付いたら掃除が基本



スロープの下に配線等を通す方法もある

濡れた床を見つけたら拭き取ります。重要なのは、自分が転びそうになったのに、転ばなかったからと、それを放置している方が多いことがあります。
気が付いたら、災害発生前に掃除を心がけましょう。



秋田労働局・転倒災害防止プロジェクトチーム